

# 新たな健診・保健指導と 生活習慣病対策

標準的な健診・保健指導プログラム(確定版)

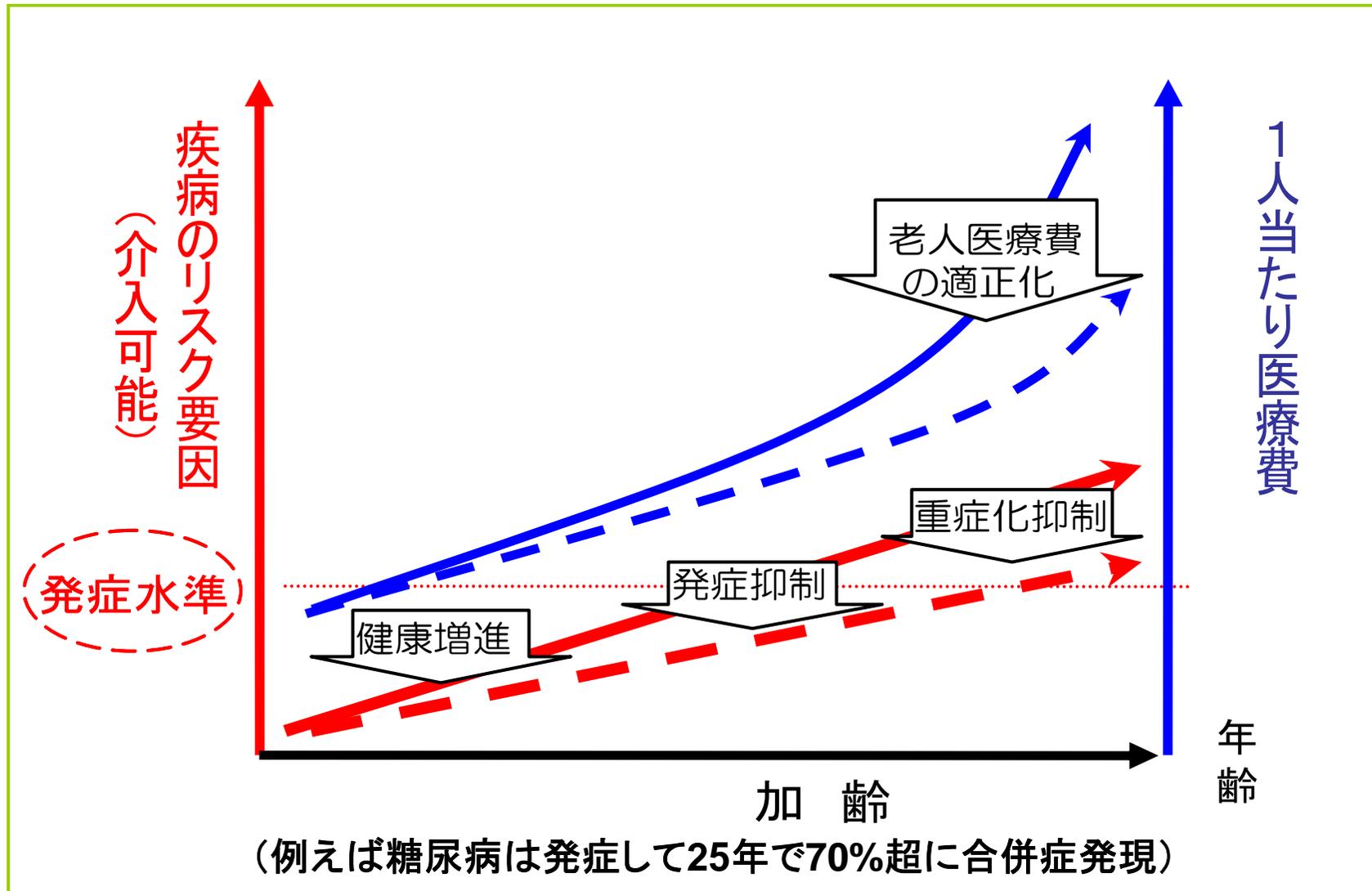
厚生労働省 生活習慣病対策室

# 医療制度構造改革のポイント

## 生活習慣病対策が一丁目一番地

- 国民皆保険制度を持続可能なものとするために、将来の医療費の伸びを抑えることが重要
- 今回の改革のポイントは以下の3つ
  - 健診・保健指導にメタボリック・シンドロームの概念を導入
  - 糖尿病等の生活習慣病有病者・予備群25%の削減目標を設定
  - 医療保険者に健診・保健指導を義務化

# 生活習慣病対策と 老人医療費への影響

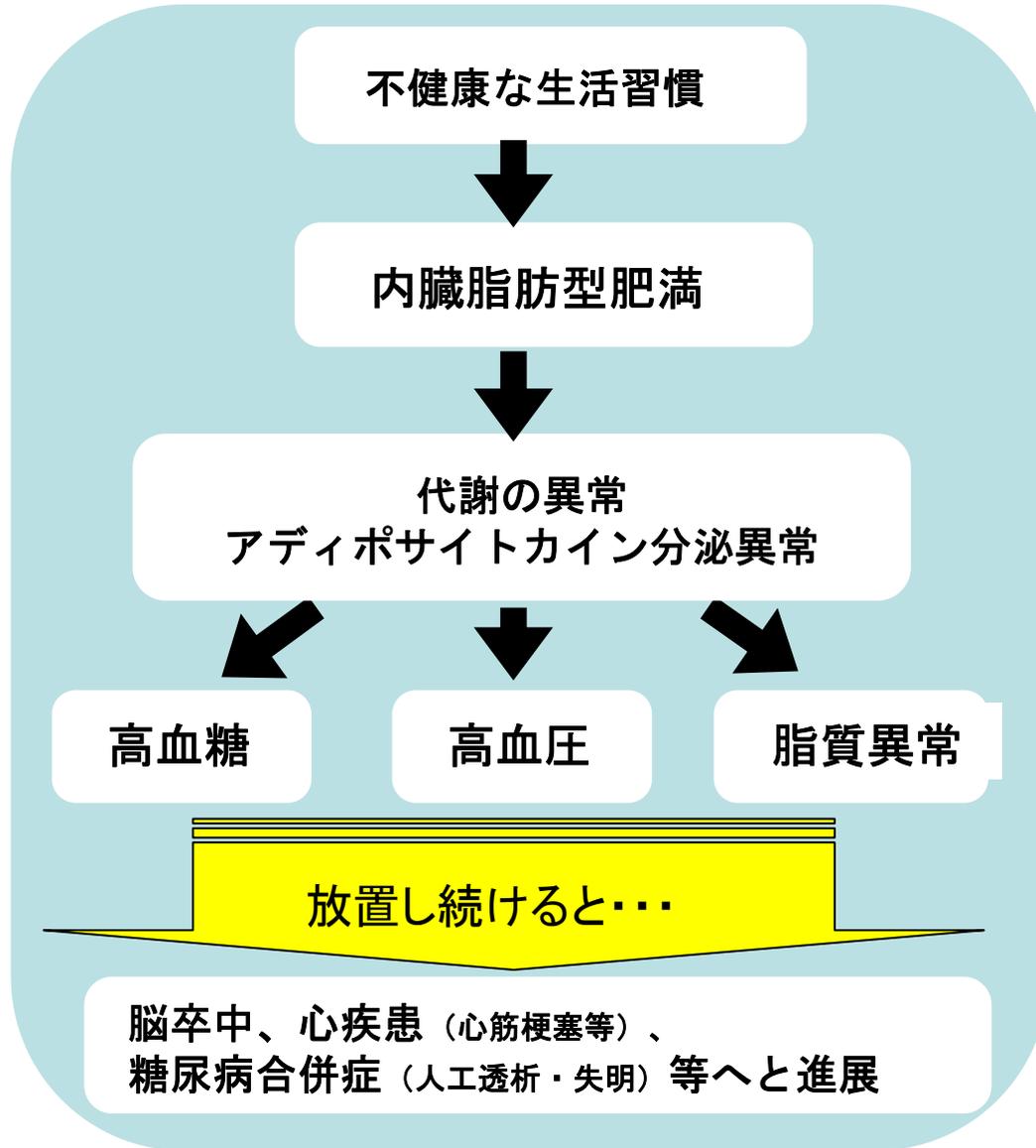


# メタボリック・シンドロームの概念を導入

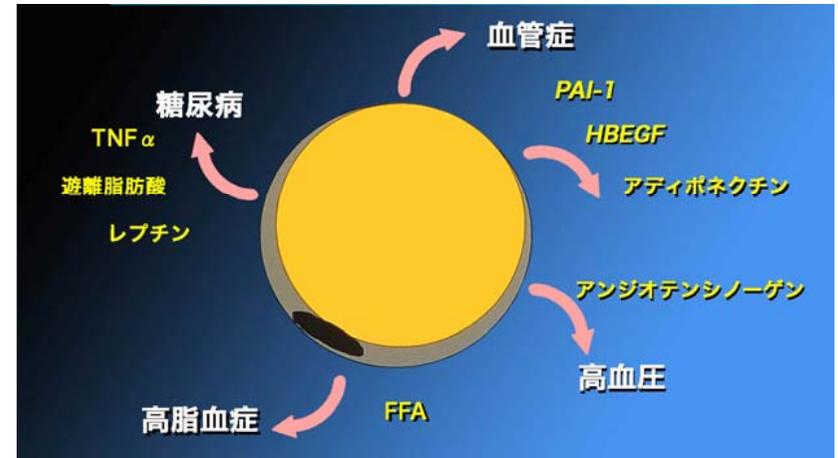
- メカニズムを理解すれば、保健指導で予防が可能
- 保健指導の対象者が明確になる
  - 内蔵脂肪の改善で予防できる対象を絞り込むことができる
  - リスクの数に応じて保健指導に優先順位をつけることができる
- 腹囲という分かりやすい基準により、生活習慣の改善による成果を自分で確認・評価できる

# メタボリックシンドロームの疾患概念の確立

～ 脳卒中や心疾患の発症を予防するカギとなる考え方が提唱されている ～



○脂肪細胞から多彩な生理活性物質が分泌される



○8学会が合同で疾患概念と診断基準を策定した  
(平成17年4月 日本内科学会総会で公表)

メタボリックシンドローム診断基準検討委員会

